

東通見聞録

イイね! ひがしどおり けんぶんろく

東通消防署 消防士 坂本（さかもと） 珠瑚（みこ）さん

勤務2年目・２２歳
救急救命士 資格所持
身体を動かすことが好き

東通消防署で勤務する坂本 珠瑚さんに、消防士の仕事について伺いました。
坂本さんは、東通消防署において、女性で初めて採用された消防士です。現在、東通消防署には、５０名の消防士が所属していますが、女性は坂本さんただ一人。
消防士・坂本さんの日々の仕事内容や、消防士を目指したきっかけ等をご紹介します。

私が、消防士を目指したきっかけ

進路を変えた、高3の秋

もともと、身体を動かすことが好きだったため、スポーツトレーナーを目指し、大学への進学を考えていました。
しかし、高校３年生の秋、**救急救命士**という仕事を知り「救急救命士になりたい」という思いが強くなっていきました。そこから進路の変更を決断し、救急救命士の資格を取得できる３年制の短期大学に進みました。在学中に、救急救命士の国家試験に合格しました。

今、助けが欲しい人に寄り添える、それが消防士。

在学中、救急救命士の資格を生かし、**病院救命士**と**消防士**のどちらを目指すか迷いました。苦しんでいる**“今”助けが欲しい人に**、いちばん最初に接し、**いち早く処置や手助けができる**消防士に魅力を感じ、消防士を志しました。
また、授業では、ベテランの元消防士が講師を務め、実技の授業には現役の消防士が指導に来てくれたので、身近に消防士と接するなかで「消防士って良いな」と自然と思うようになりました。

救急救命士ってどんな仕事？

病気やけがをした人の命を守るため、**救命処置**を行う国家資格を持つ医療従事者です。養成学校等で必要な知識や技術を学び、国家試験に合格し資格を取得します。
☎１１９番 通報を受けて、消防署から現場へ出動し、必要に応じて心肺蘇生等の処置をし、病院まで命をつなぐ**消防士**と、病院で救急患者を受け入れ、医師や看護師の指示のもと、点滴や薬の投与等の救命処置を行う**病院救命士**があります。

消防士ってどんな仕事？

火災現場での**消火活動**をはじめ、事故や災害現場での**人命救助**、病気やけがをした人を病院へ搬送する**救急活動**など、さまざまな場面で人の命と暮らしを守っています。
また、火災を未然に防ぐための防火指導や消防設備の確認、地域での防災訓練や救命講習も行っています。